



【特集】

技

無機質な露天風呂を竹のもつ雰囲気で一新！ ～四季の移り変わりに負けない空間づくり～

好評の大浴場と課題の露天風呂

日本一深いV字峡といわれる黒部峡谷。その玄関口にある宇奈月温泉は、20のホテルや旅館が建ち並び富山県随一の温泉街。トロッコ電車で行く絶景は全国的によく知られ、春から秋にかけて大勢の観光客でにぎわう。

この地に開業して36年目を迎えた「宇奈月ニューオータニホテル」が今回の依頼者。長さ25m、幅5mもある大浴槽とそこから眺める景色はお客様から高い評価を得ている一方で、露天風呂には「情緒がない」などご意見を頂戴しており、当ホテルの課題の一つだった。就任一年目の平井社長に伺った。「初めて露天風呂を見たとき、『趣がない』と思いました。鉄の防護柵が目障りで、周りの景色にマッチしていません。他社は露天風呂の演出に力を入れ積極的にPRしていますが、それらに対抗できる自信を持ってませんでした。実際に入浴してみて、直ぐにリフォームしたいと思いました。」



現在の露天風呂。右の写真が以前の状態。



モルタルの壁を人工の竹垣で覆った。

竹林を設置したことで、雰囲気やわらかくなり外から覗かれるような不安感が取り除かれた。

前任者も同様に考え、大浴場の隣にある施設を改装し、大露天風呂を建設する案もあった。しかし、予算と「既存の施設は壊さない」というオータニの教えに則し、リフォームが決まった。

演出へのこだわりと制限

社長の要望は、「移り変わる景色と露天風呂の一体化」だった。

「黒部峡谷の自然は、四季により様々に変化します。その変化に負けないデザインを希望しました。」

一般的な露天風呂であれば浴槽は地面の上になり、樹木や竹垣などで落ち着いた空間を演出できる。しかし、当ホテルの場合は浴槽が空中にせり出た「天空露天風呂」といわれる造りで、周囲に地面はない。また、予算は限られており、大掛かりな工事でもできない。演出には制限が多かった。

「他のホテルのパンフレットを取り寄せたり、専門の業者に相談したりして必死に考えました。段丘崖に自生していた竹に着目し、竹を使って周囲との一体化を図りました。」と担当者。鉄の防護柵やモルタルの壁など無機質な設備は人工の竹素材で覆い隠した。また、



大自然に囲まれた宇奈月ニューオータニホテル。

「イメージしていた通りになりました。」と社長は満足されている。

試行錯誤を重ねた手製の湯口

今回の工事で技術者を一番悩ませたのが「湯口」だった。市販されているものでは形が合わず、自作することに。ポイントは湯の出し方だった。

「ポンプで汲み上げたお湯をただ流すだけでは流れは細く左右どちらかに偏るため、貧弱な印象になります。迫力を出すには湯口から全体的にお湯を流すことが大切でした。」

試行錯誤の末、内部に柵を設け、そこから溢れたお湯が流れ出る仕組みにした。

「我ながら上手くできたと思います。」と自画自賛の仕上がりとなった。

ミスの許されない突貫工事

工事はホテルの休館日を利用して行われ、工期は4日間のみ。4日目の夕方には利用客が入るため、ミスは許されなかった。関係する業者との打合せは現地でも行われ、計画は入念に立てられた。施工後のイメージが食い違わないよう、お互いのイメージを紙に書いて何度も確認しあった。そして、工事が始まる前には寒さを気にかける間もなく二気に取り組んだ。

「せめてもう一日欲しかった、というのが本音ですが、皆さんよくやってくれました。」

まもなくトロッコ電車の運行が再開し、本格的な観光シーズンを迎える宇奈月温泉。やさしい陽射しを待ちかねていたように、峡谷の木々はいつせいに芽吹きはじめ。



他のホテルにはないオリジナルの湯口。

新しくなった露天風呂は、多くの観光客により近い位置で本物の自然を提供することができる。
(技ネット)

今月のオーナー訪問



株式会社ニューオータニリゾート
代表取締役社長
総支配人 平井 治彦 さん

無理難題をたくさん言いました

費用、場所、そして時間など、制約の多い中、うまく対応してくれました。たくさん無理難題を伝えましたが、担当者は必ず応えてくれました。この熱意ある対応があったので安心して任せられました。また、工事はちょうど大雪の頃に行われたので、職人の皆さんは大変だったと思います。

当ホテルの露天風呂は空中にせり出ているので、黒部峡谷の自然をより近くで味わうことができます。入浴のみのご利用もごいいますので、宇奈月温泉にお越しの際は、是非お立ち寄りくださいませ。



技のリフォーム

イワサ ミセマス
0120-183-304